



# ADRC Highlights Vol.149

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

16 October 2006

## ➤ JICA 中央アジア・コーカサス防災行政コースを 実施



アジア防災センター(ADRC)は、国際協力機構(JICA)からの受託事業として、2006年8月21日から9月15日にかけて、中央アジア・コーカサス地域の防災行政

官を対象とした防災行政研修(今年度は第3回目)をロシア語で実施しました。同地域では洪水、干ばつ、地滑り、地震といった災害が多く発生し、複数の国に被害が及ぶことも稀ではありません。また、冬季は積雪も多く、雪解け時期に山岳氷河が洪水を発生させることもあり、これらの国々は共通の防災課題を抱えています。

参加国は、中央アジア地域のカザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、及びコーカサス地域のアルメニア、グルジア、アゼルバイジャンの計7カ国で、中央または地方政府の防災行政担当官計14名が参加しました。研修員は防災関連機関・施設での視察を交えながら講義を受け、中央政府・地方自治体・防災基地・ライフライン・研究機関・予報機関・メディア・医療・NPO等の役割、GIS技術、国際支援協力、防災教育など広範囲にわたって、日本の防災について学びました。六甲山系での地滑り対策や砂防の現場、淡路の野島断層、大阪地区防災総合訓練の視察など、屋外での活動も行いました。

また、コミュニティーレベルでのハザードマップの作成を目的としたタウンウォッチングの実習を行い、防災意識向上に効果があることを研修員自ら実感しました。



今年度の研修から新しく取り入れたカリキュラムにPCM手法を用いたアクションプランの作成のワークショップがあります。3日間をかけ、PCMの基礎知識・実習・まとめ・発表まで行うもので、研修員は

このワークショップに精力的に取り組みました。帰国後、彼らがリーダーとなって、この手法をいろいろなプロジェクトに応用することが期待されます。

なお、当研修実施にあたり、快く訪問等を受入れていただきました各関係機関の皆様には、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。当研修についてのお問い合わせは、主任研究員の山本 ([yamamoto@adrc.or.jp](mailto:yamamoto@adrc.or.jp)) もしくは角崎 ([tsunozaki@adrc.or.jp](mailto:tsunozaki@adrc.or.jp)) までお願いします。

## ➤ アジア最新災害情報

### □ 台風13号(サンサン)

非常に強い台風13号(GLIDE番号: TC-2006-000142-JPN)は、9月16日から20日にかけて日本を横断し、九州、中国、四国地方を中心に、深刻な被害をもたらしました。

この台風は猛烈な風が特徴で、宮崎県延岡市内ではJRの特急が脱線、転覆しました。竜巻とみられる突風も吹き荒れ、電柱の倒壊などによる停電が相次ぎました。

9月29日付けの総務省消防庁の被害状況第13報によりますと、死者9名、行方不明者1名、重軽傷者計435名、全半壊家屋計398棟、一部損壊9,754棟となっています。

### □ 台風15号(シャンセン)

また、台風15号(GLIDE番号: TC-2006-000144-PHL)がフィリピン沖で発生し、9月28日、ルソン島中部を中心に、深刻な被害をもたらしました。

2006年10月11日付けの国連人道問題調整事務所レポートによりますと、153名が死亡し、406名が負傷、75名が行方不明となっています(フィリピン国家災害調整協議会発表)。家屋損失数430,182棟のうち、103,625棟が全壊となっており、また経済損失は56.87億フィリピンペソ(1.13億米ドル)にも上ると推定されています。

その後台風15号は、ベトナム中部沿岸を襲い、死者69名、負傷者525名、行方不明者2名となっています(ベトナム洪水暴風制御中央委員会発表)。

\*\*\*\*\*

なお、これら災害についての詳細は、当センターHPの最新災害情報 (<http://www.adrc.or.jp>) をご覧ください。

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp) TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546

誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行(予定)